

匝瑳議会だより

福祉

林明敏議員（市民クラブ）

問 児童虐待について、相談、通報等の件数と、その後の対応について伺う。

答 【福祉課長】 平成29年度で61件、その後の対応としては、12件について助言指導を行っている。継続して指導を行っているものが40件、児童相談所に通告したものが9件。

なお、継続指導のケースについては、定期的な家庭訪問の実施、関係機関の協力も得て経過観察を行い、虐待リスクが高まっている様子が見られた場合は、集中的な支援を行っていく。

交通

刈谷進一議員（千一世紀の会）

問 デマンド交通を導入しては如何か。

答 【市長】 公共交通についても基幹バスやデマンド交通を含め、幅広く議論し、検討してまいりたい。

林明敏議員（市民クラブ）

問 市内循環バスについて、委託業者との契約が平成32年3月31日で終了する。市民の利便性と経費を考えて循環バスとデマンド交通を検討しては。

答 【環境生活課長】 近隣の市町の現状等を参考に検討していく。

高齢者支援

宮内康幸議員（新政会）

問 地域包括支援センターの委託について、どの様な目的で新たに設置することとなつたのか。

答 【福祉課長】 平成29年度比55件増加。その内容も複雑化している。センターの機能強化を図るために民間委託により1ヶ所増設をする。

答 【高齢者支援課長】 センターへの相談件数は、前年比55件増加。その内容も複雑化している。センターの機能強化を図るために民間委託により1ヶ所増設をする。

答 【市長】 フレイル予防の導入について伺う。

答 【市長】 フレイル予防に必要な3つの要素を含んだ、いきいき百歳体操、かみかみ百歳体操の普及啓発を図り、フレイル予防を推進し、健

康寿命の延伸、要介護認定率の低下に取り組んでいく。

答 【田村明美議員（日本共産党）】 運転免許のない75歳以上の市民に年間1万8千円のタクシーハーフ券が支給されているが、支給対象を65歳以上とするなど、拡充を求める。

答 【市長】 市内4社のタクシー業者の利用料助成事業を行っているが、一定の成果をあげており、利用状況等を分析し、制度の充実・拡大に向け検討したい。

答 【農業委員会会長】 これまでの活動としては、主に地域の農地利用状況や課題の把握に努めてきた。今後は、農地の出し手と受け手の掘り起こしや、集落農の取り組みの啓発・普及など、地域との話し合いをしながら遊休農地対策や農地中間管理事業の活用を含めた農地集積・新規参入への支援等、農地の利用最適化の推進を図るべく、集活動を進める。

答 【農業委員会会長】 新たに組織された農地利用最適化推進委員の活動状況は。

答 【財政課長】 施設の状況にもよるが、提案の件は有効な手法の一つと考える。先行自治体の情報を収集しながら、対応できるよう努めてまいりたい。

答 【市長】 フレイル予防の導入について伺う。

どうか。

答 【市長】 施設の状況にもよるが、提案の件は有効な手法の一つと考える。先行自治体の情報を収集しながら、対応できるよう努めてまいりたい。

答 【市長】 フレイル予防の導入について伺う。

どうか。

答 【市長】 フレイル予防の導入について伺う。

等を踏まえ優先順位をつけることで、効果的な予算編成に活用できるものと考えている。

答 【市長】 フレイル予防の導入について伺う。

答 【市長】 フレイル予防の導入について伺う。